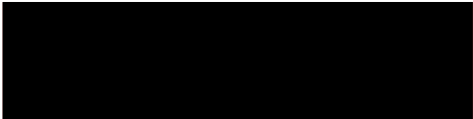


# 第2学年1組 英語科学習指導案

日時 平成30年12月12日(水)  
第5校時



## 1 単元名

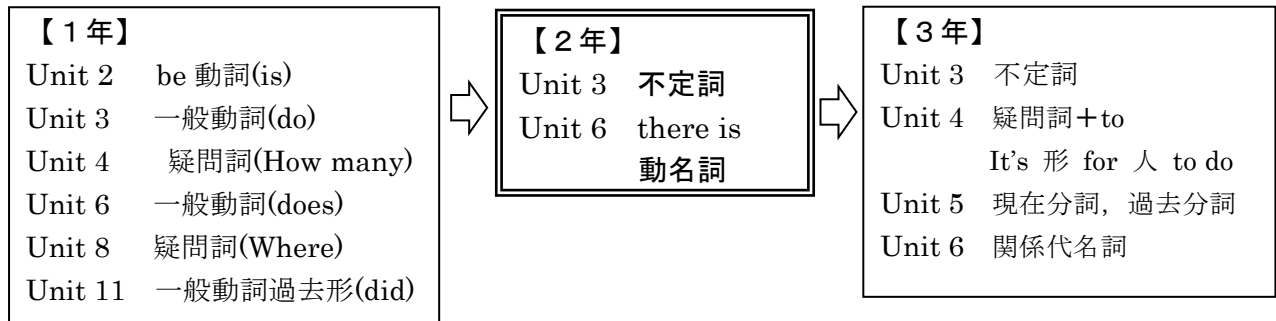
Unit 6 「Rakugo in English」 New Horizon Course 2 (東京書籍)

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領の内容イ話すことの(イ)「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」や、エ書くことの(エ)「身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと」に基づいて設定している。日本の伝統芸能である落語を英語落語にして、文化の異なる外国の方にもその楽しさを伝える活動を紹介している。また、生徒にもなじみのある小話の英語落語も紹介しており、楽しみながら学習できる単元である。この単元を通して、世界に広がりを見せる日本の伝統芸能についての理解を深めたり、そのために尽力している日本人の存在について学んだりすることができる。また、本単元で扱う言語材料は、There is (are)や目的語と主語の働きをする動名詞である。これらの言語材料を学習することで、物や人の所在を伝え合ったり、自分の趣味や特技について述べたりすることができる。さらに、発展的な学習として There is (are) や動名詞を活用して、地域にある有名なものや、その良さを伝えることができ、自分の住む地域の紹介活動につなげることができると思う。

### (2) 単元の系統



### (3) 生徒の実態

本学級は、男子17名、女子15名、計32名である。全体的に活発で明るい生徒が多い。発音や発表などを大きな声で行ったり、ペアワークなどを意欲的に行ったりできる生徒が多いが、英語の学習に関しては、様々な文法事項が混同して苦手意識を感じている生徒も多く見られる。

下は、英語の学習に関するアンケート及び本時に関連する学習の定着状況である。

(アンケート対象32名)

英語の学習に関するアンケート		話す	書く	聞く	読む
1	英語の学習で、一番分かる分野はどれですか。	5	13	11	2
2	英語の学習で、一番好きな分野はどれですか。	6	11	13	2
3	英語の学習で、一番できる分野はどれですか。	3	16	11	2
4	英語の学習で、一番難しい分野はどれですか。	7	7	8	10
5	英語の学習で、どの分野の力をつけたいですか。(複数可)	14	11	13	16

	本時に関連する学習の定着状況（「書くこと」）	定着率(%)
1	私は本を読みたい。（read a book / I / to / want / .）	100
2	あなたはショッピングを楽しむことができる。（shopping / you / enjoy / can / .）	86.4
3	私は、数学はおもしろいと思います。I（ ）that math is interesting.	75.0
4	私は、つぼん汁はおいしいと思います。（think / tsubonshiru / I / that / is / good / .）	56.3

「英語の学習」に関するアンケートより、生徒は「書く」活動や「聞く」活動に取り組みやすさを感じている生徒が多いことが分かる。これは、昨年度の県学力調査の結果にも同じような傾向があり、「書く」領域は、県平均より17ポイントほど上回っており、「聞く」領域も6.5ポイントほど上回っていた。しかし、「本時に関連する学習の定着状況」アンケートから分かるように、「正しく書く」について、平易な英作文は正しく書けるが、接続詞など少し難易度の高い問題になると誤答が増える傾向にあり、個人差が大きくなることが分かる。

#### （4）指導観

##### ア 文法事項の指導について

生徒の実態アンケートより、文法事項が新しく加わるたびに既習内容と混同する傾向にあるので、帯活動で文法事項の復習を行ったり、パターンプラクティスを行ったりすることで、一つ一つの文法事項を定着させる活動を行っていく。

##### イ 基礎学力の定着を図る手立て

モデル文や学習の流れを示しながらスモールステップで活動を行い、「わかった、できた」という実感につなげる。さらに、グループ学習を取り入れ、生徒同士で学び合える場を設定する。また、生徒の実態アンケートより、「読むこと」に苦手意識を持っている生徒の割合が多い傾向にあるので、英文を読む際に、キーワードを確認したり、英文読解に必要な語彙や文法事項の復習を行ったりするなどして、読みの視点を明確にしていく。

##### ウ 言語活動について

相手意識を明確にし、適切に伝えるためにどんな表現を使えばよいのかを考えさせる。また聞き手が更に情報を収集するための手立ても行っていく。

##### エ 主体的・対話的で深い学びを図る手立て

多様な答えが出るような発問を行うことで、生徒自身で思考する場面を設定する。また、他者の発表に質問するなどの双方向の発表を行い、自らの学びを深める場面設定を行う。

##### オ ユニバーサルデザインの視点との関連

適切な発問と分かりやすい板書を心がける。また、写真などを用いて視覚的に理解を深められるような展開を心がける。

##### カ 道徳教育との関連

本単元は、内容項目【C—（16）郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】及び【C—（17）我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】の視点で指導を行う。英語落語について学習する中で日本の伝統文化についての学びを深め、さらに郷土の伝統と文化を大切にすることを育てていきたい。

##### キ 人権が尊重される授業づくりの視点

ペアやグループ活動をとおして、一人一人が意欲を持って取り組み、互いに学び合い、協力できるような指導や支援を行う。また、共感的に発表を聞く態度を育てていきたい。

### 3 単元の目標

- (1) There is や動名詞を用いて、間違うことを恐れずに、自分の住む地域のおすすめできる事柄を意欲的に伝えている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) There is や動名詞を用いて、自分の住む地域のおすすめについて、まとまりのある英文を書いたり話したりして表現することができる。【外国語表現の能力】
- (3) 日本の伝統文化や地域紹介の英文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。【外国語理解の能力】
- (4) There is や動名詞の形・意味に関する用法・文法構造を理解することができる。【言語や文化についての知識・理解】

#### 4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	There is や動名詞を用いたコミュニケーション活動や表現活動に意欲的に取り組んでいる。
外国語表現の能力	There is や動名詞を用いて、自分の意見や考えを書いたり話したりして表現することができる。
外国語理解の能力	There is や動名詞を含む英文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	There is や動名詞の用法と文法構造を理解することができる。

#### 5 単元の指導計画（10時間扱い 本時は9時間目）

時	主な学習活動	評価基準（評価方法）	関 態	表 現	理 解	知 識
1	There is (are)の肯定・否定文を用いて、人吉の有名なものを紹介する。	There is (are)の肯定文・否定文を正しく用いて、人吉の有名なものを紹介している。（観察、ワークシート）	○	◎		
2	There is ( are )の疑問文を用いて、人吉のおすすめの場所を尋ね合う。	There is (are)の疑問文を正しく用いて、人吉のおすすめの場所を尋ね合う英文を書いている。（観察、ワークシート）	○	◎		
3	動名詞（目的語）を用いて、人吉で楽しめることを表現する。	動名詞（目的語）を用いて、人吉で楽しめることを表現している。（観察、ワークシート）	○	◎		
4	動名詞（主語）を用いて、人吉で楽しめることを更に詳しく表現する。	動名詞（主語）を用いて、人吉で楽しめることをさらに詳しく表現している。（観察、ワークシート）	○	◎		
5	教科書 P80,82 を読み、情報を読み取る。	There is (are)の肯定文、疑問文を含む英文の内容を理解している。（ワーク、問題）	○		◎	
6	教科書 P84 の英文を読み、情報を読み取る。	動名詞（目的語）を含む英文の内容を理解している。（ワーク、問題）	○		◎	
7	教科書 P86 の英文を読み、情報を読み取る。	動名詞（主語）を含む英文の内容を理解している。（ワーク、問題）	○		◎	
8	Unit 6 の文法事項を使った地域紹介文の表現の仕方が分かる。	Unit 6 の文法事項を使った地域紹介文の表現を理解している。（観察、ワークシート）	○			◎
9	Unit 6 の文法事項を使って、人吉の観光地を紹介する。	Unit 6 の文法事項を使って、人吉の観光地を紹介している。（観察、ワークシート）	○	◎		
10	単元テスト	全観点で評価を行う。（問題）	◎	◎	◎	◎

## 6 本時の学習

- (1) 目標 Unit 6 で学習した内容を使って、ALT に人吉の観光地を紹介することができる。  
(外国語表現の能力)

### (2) 展開

過程	時間	学習内容	指導上の留意点 (中心発問等) ・評価	備考
導入	5	1 Let's Review	・ There is ( are ) , 動名詞を復習する。	シート
	3	2 Today's Goal	[発] ALT はどんなことを相談していますか。	
展開	<b>本時の目標 : Unit 6 の表現を使って、ALT に人吉の観光地を紹介しよう。</b>			
	5	3 Let's Think ① Listening ② How to introduce	・観光地紹介の例文をリスニングさせ、紹介文の内容を推測させる。	PC, TV
	7	4 Let's Practice	・モデル文を参考に、パターンプラクティスをする。	ピクチャーカード
	10	5 Let's Try ① 個人で文を考える。 ② ペアで練習する。	・ピクチャーカードをもとに、新たに観光地紹介を考え、短いメモをもとに発表練習する。 ・早く完成した生徒は2つめを考えさせる。	ピクチャーカード
	10	6 Let's Share ① 班の中で発表する。 ② 数名が全体発表する。	[指] 発表のルールを確認しましょう。 ① 4人グループになり、一人ずつ発表する。 ② 他のメンバーは発表者に質問する。 ③ 数名が実際に ALT に発表する。 ・班での発表中は、発音等のチェックを行いながら、机間指導を行う。 ・生徒が発表した観光紹介について ALT より質問やコメントをもらい、応答させる。	PC, TV
5	7 Let's Write ・観光地の紹介文を書く。	・ペアや班で発表した観光紹介文を書かせ、定着を把握する。	ワークシート	
<b>◆外国語表現の能力 (ワークシート)</b> <b>B 基準</b> 自分で発表した観光地の紹介文を2文書くことができる。 <b>A 基準</b> 自分で発表した観光地の紹介文を、理由を含めて3文以上書くことができる。				
				ヒントシート
まとめ	4	8 Reflection	・学習の振り返りを行う。 [発] There is ( are ) や動名詞を使うことで、どんなことを説明できましたか。	
	1	9 Closing	・次時の予告を行う。	